

今年初めてのご挨拶となります。新しい年も半月が過ぎましたが、皆様はどのようにお過ごしでしょうか。昨年もお祈りと共に温かな励ましのお言葉を頂戴し、又、尊いお献げものをもって物心両面でのお支えを心からお礼申し上げます。引き続きドイツでの宣教をご一緒に担って頂けたらとても励まされます。どうぞ今年もよろしくお願いいたします。

春を迎えると延長2期目・7年目の働きとなり、瞬く間の6年間でした。これまで皆様が愛と寛容さをもってこの者を育ててくださったと痛感しているところです。これからの歩みは更に駆け抜けるような毎日だろうと思われており、与えられた時を大切に過ごしたいと願っています。

2022年の私たちの教会は、日本聖書協会・「一年間聖書通読日課表」を用いて聖書通読を目標にしています。義務感に苛まれることなく、御言葉から気づきや感動が与えられて楽しく通読できる事を願っています。理解できなくも止まらずに、兎に角読み続けるようにと呼びかけています。また聖書の学び会は旧約聖書から始め、子どもの礼拝も再開し、今年は多彩なチャレンジの年となりました。昨年の10月から参加されている隣国の教会の方々も一緒に足並み揃えています。私たちの小さな群れを頼ってくださるということは、教会にとって活力の源になっているような気がしています。

毎年のことですが、1月末は教会定期総会が開かれるのでその準備に追われていました。更に私ごとですが3月末にはビザ・ドイツ滞在許可が切れるので、申請のための書類作成を行いました。事務能力に欠ける私はとてもプレッシャーになるので終わってホッとしています。ビザ申請の手続きにも慣れてきたのですが、今回は雇用形態が大きく変わり、又、審査にあたっての重要なポイントとなる部分の変更もあるので、今迄同様にスムーズに通るか気懸りなところはあります。しかし、主の計らいを信じて祈りながら待つことにします。お祈りに覚えて頂けると幸いです。

今年も敬愛する皆様のご健康が支えられて、いかなる状況であっても主の変わらない慈しみの中で幸いな歩みとなりますように心からお祈りしております。

我が家から30分歩くと広大な樅ノ木畑に目が留まります。

今年用に新しい樅ノ木が育て始められています。何千本あるのでしょうか。小さな、小さな赤ちゃんのような木を見つけました。12月までには一人前に成長して多くの家庭へと届けられます。成長が楽しみです！



我が家の樅ノ木の行方

毎年1月に入って公現祭が終わると、回収に来るのでベランダから投げていることを以前お伝えしたことがあります。

しかし、昨年はお覧の通り大きな木だったので、男性でも4階の我が家から投げることはできません……。痛々しいのですが、ノコギリで小さく解体するしかありませんでした

1ヵ月間、楽しませてもらった木を切るということは心が痛むものですが、意を決して感謝しながら取りかかりました。枝が細かったので意外と手際よく終了し、やっとクリスマスの一連が終わったという感じです。

1年中で最も日が短く太陽も殆ど出ず、心が沈みがちになるクリスマスの頃に、沢山の元気を運んでくれる樅ノ木です。ですので、私にとってはただの飾りではなく、相棒のようなもので、一緒にイエス様の御誕生を待ちます。しかし今年は小さなサイズにします！